Japan Geoscience Union Meeting 2015
(May 24th - 28th at Makuhari, Chiba, Japan)
©2015. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.

HGG21-07 会場:101A 時間:5 月 27 日 15:45-16:00

中国内モンゴル呼倫湖自然保護区における旅行に対する観光客と住民の意識
Tourists and residents awareness for their traveling hulun lake nature reserve

韓 国栄 [1*] ; 古谷 勝則 [1]
HAN, Guorong[1*] ; FURUYA, Katsunori[1]

[1] 千葉大学大学院　園芸学研究科
[1]Graduate School of Horticulture,Chiba University

はじめに

自然保護区は生物多様性が高く、観光客にとって魅力的なところである。また，自然保護区での観光活動は生態系への理解を深めることでもある。中国内モンゴル自治区は，国家級自然保護区の指定面積が全国一位である。その内、草原類型の自然保護区は観光客に注目されている。観光客の草原生態系への理解，自然保護活動を促進するのが観光管理の一つの課題である。また，観光客の観光活動を促進するには，観光客の評価だけではなく，住民の評価も必要である。そこで、本研究では呼倫湖自然保護区における旅行に対する観光客と住民の意識を把握することにより、住民と観光客の評価項目を明らかにした。

研究方法

呼倫湖自然保護区における住民と観光客を対象に、2014 年 8 月末から 9 月中旬にかけて意識調査を実施した。意識調査はインタビュー方式で 192 名の有効回答を得た。その内，住民は 56 名と観光客は 136 名であった。意識調査では，回答者の属性と、呼倫湖自然保護区の旅行に対する意識を把握した。旅行に対する意識としては、自然保護区における旅行の良いところと足りないところについて回答してもらった。呼倫湖自然保護区は，中国の内モンゴル自治区フルンボイル市に位置する国家級自然保護区である。保護区内に内モンゴルの乾性草原とは対照的な湿性草原が広がる。

結果

住民の回答者の属性では男性 27 名，女性 29 名であった。回答者の 69 %は高校以上の学歴であった。農牧民は最も多く 66 %であった。観光客回答者の属性では男性 65 名，女性 71 名であった。回答者の 77 %は高校以上の学歴を持っていた。36 %は学生であり，13 %は公務員などの職業に就いていて，36 %は無職と自由職であった。

現地インタビュー調査から得た保護区における旅行についての評価項目は良いところは 28 項目，足りないところが 16 項目で、合計 44 項目であった。評価項目は自然環境、地域文化体験、宿泊施設、交通，娯楽施設，サービス対応，施設整備，旅行費用など広い範囲で回答があった。

観光客が回答した「良いところ」では、「チケットが安い」が最も多く 46 %であった。次に「豪快な民族雰囲気」と「食べ物がおいしい」が 36 %であった。「湖が大きい」と「自然」も 32 %であった。また、住民の有効回答者が回答した「良いところ」では、「旅行費用が安い」項目を回答したのが最も多く 57 %であった。次に「チケットが安い」が 55 %であった。「食べ物がおいしい」と「自然」も 42 %であった。

観光客の回答した「足りないところ」では、「遊ぶところが少ない」項目を回答したのが最も多く 31 %であった。次に「風景が単一」と「宿泊」が 27 %であった。「食べ物」と「人が少ない」も 26 %であった。また、住民が回答した「足りないところ」では、「気温差」と「宿泊」項目を回答したのが最も多く 33 %であった。次に「野生動物に会わない」が 32 %であった。「広い」,「食べ物」,「風景が単一」と「遊ぶところが少ない」も 28 %であった。

4. おわりに

本研究では、中国内モンゴル呼倫湖自然保護区における旅行についての意識を明らかにした。保護区旅行の「良いところ」で、観光客と住民が共通なのは、旅行費用やチケットなどが安価であること、食べ物がおいしいことなどである。一方、観光客は湖や自然も評価していた。次に、「足りないところ」では、観光客と住民で共通なのは、宿泊と食べ物、風景が単一であった。異なる部分は、観光客は遊ぶところが少ないと回答し、住民は気温差を回答していた。

キーワード: 旅行, 環境と持続可能な開発, 自然保護区, 草原, 自然環境保全地域, 評価項目
Keywords: travel, environment and sustainable development, nature reserve, grasslands, nature conservation area, evaluation item